伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
電話 七〇七六四

社長 石黑敬滿 Director M. Sameshima

購讀料 一ケ年 六十圓 半ケ年 三十圓
廣告御用は大阪會館御取扱

珈琲 サントス四級 ナヤロ ノミナル リオ七級 一二六〇〇

爲替 對日 郷里宛金 五、八一〇 對米 一九、七七〇 對英 八〇、〇五〇

# 佛艦隊を獨伊へ合流
# 英の海軍力減殺を企圖

## 米海軍太平洋基地增強問題

ルーズベルト大統領もハル國務長官も二十二日の定例會見では、この點に就き一切言明を避け、ただ記者團よりノックス海軍長官の講演に就き何か云ふ事は無いかとの質問が出たのに對し、ルーズベルト大統領はこれを國際情勢の一般の話題とし極めて漠然と基地增強に否定的回答を行つた、尚英國が國防航空機ガソリンの買ひ占め契約を行つた一件等の報告にも援して同ないとの情報に就き、ハル長官は一切言明を避けたる英海軍力減殺の戰術に出るであらうと傳へられる、然し消息筋では獨伊關係が急速に此處迄發展するものとは見ず寧ろこの一歩手前のフランスを獨伊に接近せしめる爲めの政治關係調整工作が中心をなすものと見、具体的には獨伊對佛の休戰協定更改の形を採るものと信ぜられてる

ハル大統領長官

## 極めて慎重態度

## 佛は對英宣戰意思なし
### 佛側スポークスマン言明

【ビシー二十三日同盟】ヒットラー總統のフランス訪問を繞り、フランスが軍部側に立つて英國に宣戰するだらうとの觀に對し、佛外務省スポークスマンは二十二日正式にこれを否定左の如く説明した

フランス政府が英國其の他の國に對し宣戰すべく折衝をわひつゝあると謂はれてる樣だが、斯る問題は全然存在しない

## 日、佛印交渉本筋へ
### 今後は松宮ドクター、三者で行ふ

【ハノイ二十三日同盟】佛印駐屯軍總司令官ドクー、三者で行ふ

事務總長藤原書記官を帯同、二十二日午後二時ドクー總督を訪問、クーサン佛印側代表と日佛軍事問題に關する第一回會議を行つた、會議は一時間十分に亘り、全般的話題に關し極めて友好裡に進捗した、今後の會議は松宮、ドクー、クーサンの間に續行、細目交渉は今後の交渉妥決後行はれる模樣である

## 泰、佛印境不安募る
### 泰國軍侵入の噂に戰々兢々

【盤谷二十二日同盟】泰、佛印國境方面に於る不穏は依然として解消されず、ノンカイ及びナコンパンオン對岸からラオス住民は、泰國軍隊が近くメコン河を越えて佛印内に侵入して來るとの噂に脅えて山岳地帯に逃げ込み、又佛人の軍人官吏は家族をハノイ、サイゴンに引揚げさせ警戒を嚴にしてる、一方佛印軍隊内に於る安南兵の叛亂を恐れて居ると謂はれるが、シリ・クルングス紙の報道に依れば、安南北部に黒旗と呼ぶ秘密結社が盛んに活躍し、安南王保大が正位に就いた當時、佛印當局に反旗を翻し、革命を企して逮捕された一味の殘黨が密かに同志を結合し安南王再び安南國獨立革命を企圖してると謂はれる

## 日本綿布が斷然王座
### 綿布不足に世界的悲鳴擧る

【東京廿三日同盟】從來英國の勢力範圍たる英國のみに綿布の供給を仰いでた海外諸國に於ては、極端な輸入制限と英國よりの供給に基づき在荷の減少を來し本邦綿布に縋らんとする氣運が漸次濃化しつゝあり、これに對し本邦側では、國際關係の急轉回に伴ふ決濟不安或は紡織等に警惕みする向きが多く、自粛的態度を持してるが、このため諸外國は買ひ焦り氣味で最近では左の如く取引き條件の改善問題を生じた事は注目される

英印貿易掛け値に引渡一期延長の是正氣運濃厚、近東諸國先輪み、目つこ判程度の手附け渡し期日延期又は決濟をポンドよりドルに切り換へてるる、北歐諸國、ドルによる前金電送制度をとる濠洲、ポンドによる制度をとる

| 綿布相場 | |
|---|---|
| 綿布前寄り三〇〇、三一四、三二、三三五五 | 三四四、三五一、三五七 |

## 大日本製糖帝國製糖合併

【東京二十三日同盟】大日本製糖では帝國製糖（資本金二千七百萬円）を吸收し併合するに廿二日決定した、期日は明年二月十日

## 日本在住英人に總引揚勸告
### 皇軍占領地域居住者も同様

【紐育二十三日同盟】上海電に依れば、英政府は二十二日、支那の日本軍占領地域内に居住する一般英人に對し引揚げ勸告を發したと、尚日本在住英人に對しても數ケ月前同樣の勸告が行はれてるると

## 大洋支配者が世界の運命を左右する
### ノックス米海軍長官 太平洋基地增加を强調

【紐育廿二日同盟】ノックス米海軍長官、廿二日のヘラルド・トリビューン紙主催「時局講演會」に於し講演を行ひ左の如く米國は太平洋基地を增加する旨明言すると共に、規模戰艦建造進捗狀況を示唆した

米國は太平洋に軍事基地を設置せねばならない、又必ずや增加するであらう新しい基地が何の程度迄霧の地に置かれるかは、現在進行してる諸事件の結果を待つて決せられる事となら う、戰爭は依然として大洋を支配するものが世界の運命を支配する事を証明してる、米海軍は主力艦を十五隻から三十隻へ、巡洋艦を三十二隻から八十五隻に、航空母艦を六隻から十八隻に、驅逐艦を百五十九隻から三百二十五隻に、潜水艦を百四十隻から百八十五隻へ、戰闘機を千二百台から六千台へ夫々增强する豫定である、此の爲め全民間造船所は目下總ゆる方法を講じて軍艦建造に全能力を發揮してる

## 外務辭令

【東京廿三日同盟】外務辭令

依願本官免官

総領事（ホノルル）郡司喜一

総領事（南京）兼大使館一等書記官（中華民國）草輪義敬

総領事（ウイーン）山路章

兼任大使館參事官獨逸國在勤仰付ける

大使館參事官田代重德

濠洲國在勤を命ず

大使館一等書記官（中華民國）杉原荒太

兼任總領事南京在勤を命ず

總領事（ホノルル）郡司喜一

兼任大使館參事官獨逸國在勤仰付ける

大使館參事官濠洲國在勤仰付ける

大使館參事官田代重德

濠洲國在勤を命ず

大使館一等書記官（中華民國）杉原荒太

兼任總領事南京在勤を命ず

總領事（ホノルル）郡司喜一

## 伯剌西爾時報社
### 紀元二千六百年御大典奉祝大特輯號發刊謹告

謹啓

各位益々御清穆奉賀候陳者、御同樣一日千秋の想を以し待居り候皇紀二千六百年祝典期愈々目睫の間に迫り候に就ては在外の我等當、如何なる様式を以て此の曠古の御大典を祝し奉るかは人各々考慮する處に候得共別けて新聞報道を念とする我國紀元二千六百年、人和有史五千年に比し永きとは申難く候も西暦一千九百四十年に較べて六百六十年古く其間未だ一回も外敵の侵す處とならざるは世界、比なく而かも東西兩洋の文化を取入れ明媚鹽梅して自己の有たらしめ候上更に獨特の文化を創造し以世界平和の基礎たらしめつゝあるは是れ大和民族素質優秀の賜物我等は茲之を再認識して歡喜に堪へざるものに候されど我等は之を以て滿足する譯には參らず今後倍々研鑽努力して完成を期すべきが理にも世界雄飛に依つて肇國の理想たる八紘宇を擴め以全人類に平和の幸福を捧ぐべきを最も緊要なることなりと存候

殊に伯國に居住する我等の如く數に於し二十餘萬を有し且つ三十三年の基礎を築けるに取ては時に多少の支障ありとしても移民が窮屈となれば貿易を以つて之を補ひ又數の增加が低下すれば質の培養に依つて補足するなど方法に作有無相通ずる徐多々有之候得ば我等は益々意を强ふし又と遭遇し難き千載一遇の紀元二千六百年の御大典を迎ふるを契機に母國の新體制たる昭和維新と歩調を合せ一億一心の形態にて此の土に奮闘努力するを意義甚だ深きものなりと存候

即ち此處に着眼せる弊社は來る十一月十日の御大典を奉祝する爲め紙數增し内容豊富且つ美麗なる『紀元二千六百年御大典奉祝大特輯號』を發刊し廣く之を内外に配布して在伯邦人の至情が如何に理想に燃へつゝあるかを知らしむると同時に新舊轉換の維新に就ての識者の意見を發表すべく目下弊社東京支局と連絡を取り準備大いに努めつゝ有之候間各位に於かせられても弊社の意の存する處を諒察あつて在伯邦人の實力御示しの意味に於て紀元二千六百年御大典奉祝大特輯號には奮つて奉祝廣告御掲載致下度奉懇願候

昭和十五年十月

敬具

伯剌西爾時報社

## 英本土上陸作戰
### 唯一の障害除去

【伯林二十三日同盟】ヒツトラー總統は、二十二日突如リツベントロップ外相と共にフランスに赴き、ビイシーより赴いたラバール佛副首相と會見し、長時間に亘つて何事か重要協議を遂げた

【華府二十三日同盟】ユービー電によれば、リツベントロップ外相帶同佛國に乘込んだヒツトラー總統は、佛政府に對して次の五ケ條の要求を提出するであらう、而して結局佛國をして對英宣戰布告に出でしむるものであると英米側では觀測してゐる

一、佛は獨の世界新秩序樹立に協力すること

一、獨は佛領アルサス、ローレンを伊はニースを併合する

一、アフリカ駐屯の佛軍及び佛艦隊空軍は伊軍のエジプト及びパレスタイン攻略に參加すること

一、地中海及ひアフリカにある佛海空軍根據地を獨伊兩國に使用せしむること

一、佛植民地を次の如く分割すること

アルゼリヤは伊へ、チユニス及びモロッコはスペインへ、他の佛領植民地は獨へ返還する

フランスを中心とする外交的動きが頓りに活潑化した事を報じ右に關聯し、AP伯林電は獨逸はフランスを說得し、佛艦隊を獨伊海軍に合併せしめ、三國聯合艦隊を以て英海軍と決戰、對上陸作戰の障害

## 慌し駐土英大使の動き
### ユ、希、土三國同盟下工作？

【イスタンブール二十二日同盟】英國は目下バルカン及び近東の新情勢に對處すべく、必死の努力を傾注してるが、ヒューゼスセン駐トルコ大使は、數日前サラジョグル・トルコ外相と會見の後直ちにイスタンブールにレンデル駐ブルガリア公使を招致して意見の交換を行ひ、二十三日にはキヤンベル駐ユーゴー公使とも會見の筈であるが、右に關しトルコ各紙は「重大なる意見の交換に過ぎず」と報じてゐるものゝ一部にはユーゴー、ギリシヤ、トルコの三國同盟締結工作であるとの說も傳へられて居り、エジプト訪問中のイーデン陸相のトルコ訪問說と相俟つて、バルカンを中心とする出先英外交官の慌しい往來は獨伊のバルカン制壓策の動搖をなすものは無いかと頗る注目を惹いてる

## 獨機、英を猛爆

【伯林十三日同盟】我空軍は二十一日倫敦を初め、中部及び南部イングランドの重要軍事施設を爆撃、今度は多數地域に大火災を起さしめた、リバプール北部のレイランドでは飛行機製作工場に軍需工場を破壞せる外、各地飛行場に石油貯藏庫にも大損害を與えた

一、英東海岸沖で又々英護送船團を襲撃、三千噸級の一商船に命中彈を與えた

一、報復爆撃は二十一日夜も行はれ、ロンドン、バーミンガム、リバプール等を襲ひ、各處に火災と爆發を起さしめた

もすべからずだ。

◎日本綿布が遂に世界の王座に特上げられそうだ、年併海上運輸と當業新外交の展開近き業者連の爲めいからして自重が必要。

◎日本は三國同盟義務履行のため獨伊應援に出兵するであらうとユービー電が報道

◎駐日英大使が日本在住英人に速急引揚げを勸告、どうぞお早い處願ります。

◎大分長い間指子木だけ叩いて幕の開かなかつた例の英本土上陸戰、來る二十五日から十一月二十五日までの間に必ず實行される」とドーバー海岸の漁夫さんと佛海軍とで共同發明しました。海峽が極めて靜穏なのと濃霧が海上を覆ふ絶好の時期であるからだそうです、まあ當てにしないで待つとしませう。

◎チャーチルが佛をほめたりおだてたりしたが、ダカールを砲撃したのは何の國だつたかしら、またポーランド人は優秀な國民だと附加へたが、その中に獨逸人が六萬三千人も混じつてるとは笑つてゐる。

◎蒙洲に愈々帝國公使館設置と決定、日蒙新外交の展開近し。

◎駐土英大使が大活躍をはじめたがバルカンの大勢今や如何と

## あばれ大名
（電上通映画化）
久我荘多郎 倉島秀雄 脚色

（二百三十五）

（どくろ船）

江戸で（一ノ三）

「大岡越前守忠相ぢやと？」

「――御意」

「身は一介の町奉行ではないか。その身をもつて、この賴昭に乱暴するとは何事ぢや。ブ、無禮なッ！ 潛上至極ぢや！ 政廟には人無しといふか。この賴昭は、市井の徒でないぞ。讃岐為松十二万石の大守ぞ。それを――それをたかが町奉行の身で――」

賴昭は、さういきり立つのである

大岡越前守忠相の名は、讃岐にあつても聞いてゐた。名奉行として、公民ともに受けのよい人物であるといふことも、よく知つてゐる

が、それはそれ。いかに敏腕の忠相であるといつても、たかゞ江戸の南町奉行のうちに座つてゐる人物だ。市井の行政を司る男だ、その身で大名の不審を乱さうなどゝいふのは、越權もはなはだしい。大名を乱す役目には、月番老中がゐるではないか。

それとも、この讃岐守賴昭は、月番老中の前に出るかけの價値がないといふのか。市井無賴の徒と同一視してこそふさはしい男だといふのか！

――と、賴昭の胸は火のやうになり、氣が狂はんばかりの怒りに騒り立てられるのである。

五左衛門を、默つて目をとげた

「さうだらうが？ 賴母木。わしの言葉に間違ひはなからう？ 五左衛門」

と、賴昭の火のやうな言葉は、やり場のない憤懣のハケ口を求めるやうに、なほつゞくのである

「忠相とは何者だ？ 所領三千石の町奉行でないか。この――！」

靜かに聞いてゐたが

「――殿」

と、おだやかに呼びかけた

「お言葉ながら、これは、是非もなきことかと心得ます」

「な、なにッ！」

はぢかれたやうに、賴昭、マヂ〳〵と鋭嚴な五左衛門の顔を見詰めてゐたが

「そちは――そちは――」

「何事も御存知なき殿としては、その御立腹も無理からぬことと存じますが――この度御公儀よりお達しの御不審の廉とは、自體何事であるか、御承知にござりますか？」

「――――」

賴昭は默つてしまつて、ゴクリと唾をのんだ

「御上使をお受けあそばした折、殿のお胸は、激動いたしたことと推察仕りまするが――」

賴昭は、十二万石の大名である。何たる無禮ぞッ！ 何たる恥辱ぞ！ あゝ、わしは――

――わしは――」

さう喘いでゐるかと思ふと

「五左衛門！」

と、こゑで、不意に癇癪が爆つた

「そちは、賴昭の家臣でなかつたか？ これまでの無禮を易々として取次とは何事である。お恥かしめられゝば、臣は死すと和漢にあるぞ。忘れたかッ！」

賴昭は、眞青な顏色になつてゐる。おこりのやうに、ブル〳〵顫へてゐる

すると――

冷徹の江戸家老、賴母木五左衛門である。この男の激昂なる言句を、銀刷な目となつて

# 涙渇かぬ高輪南町御殿に 御五十日の御儀

## 御しめやかに執行さる

故北白川宮永久王殿下

【東京廿三日同盟】蒙疆の戰野に名譽の御戰死を遂ばされた故陸軍少佐北白川宮永久王殿下の御五十日祭に當る廿三日、高輪南町の御殿では午後一時から御母宮、妃宮女王殿下をはじめ奉り、御在京の各皇族方にも御參列、御縁故者參會して嚴かな御五十日祭の儀を行はせられ、勅使久松侍從、皇后宮御使岡部事務官、皇太后宮御使清閑寺事務官の拜禮があり、喪主奉仕の石川別當拜禮、皇族方御拜遊ばされて、御五十日祭の御儀を終へさせられたが、引續き午後三時から豐島岡御墓所に於ても御墓所五十日祭の儀を行はせられた（寫眞は故永久王殿下御馬上の御英姿）

感激して敬慕してゐたとの事である、殿下には宣撫の急務な事を早くから思召されて支那語に達者な御附の梅田屬を貧民街等に差遣はされ、東京の御殿から送られた御菓子等子供達に分たせられた事も再三であらせられた、又殿下には衛生思想の普及に努められ、これで貧民街もだん〳〵清潔になってきましたが、これも殿下の思召によってなされたものでした、蒙疆の發展を期して創立された興亞青年學校も、殿下の御發意に因るものと承りましたが、

# 今蒙疆の地に薫る 故殿下の御遺德數々

## 武田事務官・謹話を發表

【東京廿三日同盟】長く心も移さ御身を以て蒙疆の戰野に護國の御柱と御神去りました故北白川宮永久王殿下が、中北支を初め遠く蒙疆の地にまで殘させられた御高德は故殿下の御身と御動靜が、前線の一般民衆に知れるやうになつてから、日毎に現地日支兩國民は今更に恐懼し、彌高き御遺德を仰ぎ故殿下を追慕申上げてゐる、民草と御同樣に軍人遺族とならせられた御母宮房子內親王殿下、妃宮祥子殿下の御使として大陸の御戰跡を巡り、故殿下の御戰死の地を葬つた武田北白川宮附事務官は、廿二日午後三時半東京驛着歸京したが、同事務官は故殿下の御遺德を偲び同夜謹んで左の如く語つた

現地の良民は殿下とも知らず大人と申上げ、御人德に

## 「噫！北白川宮殿下」御追慕の讃歌成る

【東京二十三日同盟】蒙疆に於て御戰死遊ばされた故陸軍少佐北白川宮永久王殿下の御遺德を偲び奉つて廣く國民が御敬ひ申上ぐべき讃歌「噫！北白川宮殿下」が二十二日陸軍省から發表された、歌詞は故殿下の御勇武を御敬ひ申上げたもので大妃殿下にも殊の外御滿足あらせられたと承はる

# 夢に見た友の骸 松の根つ子で發見

## 戰場に拾ふ奇蹟談一つ

【宜昌發特電】宜昌作戰の六月十一日、北村（勝）部隊長指揮下にあつた田川利作中尉（新潟縣柏崎市出身、二重縣大湊工業學校卒）は白洋附近で敵線と後方をつなぐ電話線が切斷されてゐるため勇敢にも單身敵中に入り將校斥候を行つたが、途中敵兵と遭遇、戰死したものか行方不明となつた、部隊では極力死体捜査に努めたが發見されずに終つた、しかるに

## 夢の神秘

すぐる宜昌作戰の夢に、田川中尉の後任に選ばれた猪股義勝中尉（高田市出身）は戰友の死体を引きつぎ八方手を盡くして捜索に當つてゐたが、去る八月二十七日夜、田川中尉の死體が松の下から發見された夢を見た、早速その夢を追つて渡邊軍曹に命じて二日間ほど白洋附近の松林を捜し廻つたところ、白神を戴たる六キロの地點で夢の通り松の根元に捜す戰友が軍服そのまま埋没されてゐた、首筋に小銃彈が貫通してをり同所附近で敵彈を受け壯烈な戰死をとげ敵兵のため埋められたものと推測されたがこの夢のお告げは戰場の奇蹟物語をまた一つ增したものである

遺骸發見の報を三重縣度會郡大湊町東町の留守宅にもたらすと田川中尉美子夫人はけなげにかたる

「八月十九日部隊から郷里の方に生死不明の通知がありました、出征して三年餘になり南京、徐州、漢口と參戰して微傷だに負はなかつたのが不思議なくらゐで戰死はかねて覺悟ながら生死不明では心苦しくどうか立派な戰死であるやうにといつも念じてをりました」

なほ遺族は宇治山田中學一年生の長男利昭君（十四年）を頭に二男二女がある

# 高須中將 南支方面海軍最高指揮官たる

## 大本營海軍報道部公表

【東京二十三日同盟】大本營海軍報道部二十三日午前十一時公表、南支方面海軍最高指揮官たりし海軍中將高須四郎氏（現軍令部出仕）は明二十四日正午頃大阪商船丸にて門司に歸還、二十六日午前九時十分東京驛着、直ちに軍令部奏上の爲參內の豫定なり、南支方面海軍最高指揮官の後任は海軍中將澤本頼雄氏なり

# 高須中將晴の歸還 後任に澤本頼雄中將

【東京廿三日同盟】南支方面海軍最高指揮官たりし海軍中將高須四郎氏は、軍令部出仕、明二十四日正午頃大阪商船丸で門司に歸還、二十六日午前十一時大本營海軍報道部より左の如く公表された

南支方面海軍最高指揮官たりし海軍中將高須四郎氏は、軍令部出仕、明二十四日正午頃大阪商船丸で門司に歸還、二十六日午前九時十分東京驛着、直ちに軍令部奏上の爲參內の豫定なり、南支方面海軍最高指揮官の後任は海軍中將澤本頼雄氏なり

## 澤本中將

岩手縣出身本年五十四才、明治四十一年兵學校卒業、五十鈴艦長、英國駐在、天龍艦長、軍務局第一課長、高雄艦長、日向艦長、艦政本部總務部長などを歷任、昭和十三年十一月中將に進級、練習艦隊司令官、駐蘭海軍武官、軍令部第一部長、第二部長、第一課長、軍令部第一部長、第二部長、第一課長、軍令部第一部長、第二部長、第一課長

# 戰機愈よ熱し

## パライバ平原で一大白兵戰展開

パライバ平原グワラチンゲタ市に設置されてゐる今次大演習參謀本部の發表によれば最後決戰を決する白兵戰はグワラチンゲタ及びタウバテ地方で白熱化を開始するものゝ如く、その期待々熱さんとしてゐる　即ち第一及び第四歩兵軍團はリベロン・グランデよりリオ・ドス・スルドスにある第二歩兵軍團と合し、海岸地帶よりの侵略し來る敵軍を次第に驅逐し前進しつゝあり、敵騎偵察の騎兵と斥候兵し、又歩兵陣をおびやかし決戰パライバ大平原は今や殷々たる砲聲、轟々たる爆音に包まれ、將に起らんとする白兵戰に山嶽、平原は武者振り立つてゐる

パライバ平原の各所で演ずる飛行戰、戰車戰今や瞬時に迫つて來た、戰車等甲目動車等の機械化部隊の活躍、偵察機は雲をかすめて天空に躍り砲兵隊の爆撃、機械化部隊の活動を阻害せんとパライバ峡とマンチゲーツ山脈と海岸山脈に挾まれた所

## 大演習統監に——大統領昨日出發

ゼツリオ大統領は將星を從へ、昨二十三日リオ市を出發、グワラチンゲタ本營に到着陸相エウリコ・ゾトラ將軍から戰況を聽取したる後、今次個國未曾有の陸軍大演習を統監する

## 公定相場を定めて市民の便宜をはかる

### 五百鈆以下ではやって行けない

聖市當局では日常必需品の値段を統制すべく、過去一ヶ年に亘りこれが調査を行つて來たがそれによると、聖市に於ける日用品の相場は實に不統一である、例へば白米一キロがブラス區一鈆五百レース、サンタ・セシリア區及びジャルジン・アメリカ區一鈆八百レースとなつて居る、其は貧民街地方では暴利を貪の觀點を採るにもよるが、貧民にしては三百レースの差は輕視でもできない、茲に於て當局はリオ市に於ひ公定相場を常に設定して用圖、ビラ等に依つて一般に知らしめる方法を講じることになつた、當局の調査に依る貧民街に於ける一ヶ月一家族の生活費は次の如し

| | |
|---|---|
| 家賃 | 一五〇ミル |
| 衣服靴 | 一〇〇・〇〇 |
| 醫藥費 | 四〇・〇〇 |
| 本屋 | 一〇・〇〇 |
| 電燈料 | |

數十年來のセッカで野菜は鰻上りだし、おまけに來年は未曾有の不況が來るぞ、米も豆も百ミルを突破だとおどかされ大抵神經衰弱になつてゐるお台所部隊のお神さん軍へ、これはまた慨の觀で大砲をブッ放なされた樣なビックリ事

## 野菜も高いが魚も値上り お台所益々恐慌！

### 野菜屋もコボシ 蒲鉾屋さんも暫し休業

水道代　一〇・〇
白米十五キロ　二二・五
豆十五キロ　二二・五
砂糖十五キロ　一八・〇
電車賃其他　二〇・〇
馬鈴薯　一五・〇
珈琲　一八・〇
豚油及オリブ油　三〇・〇
野菜及調味料　一五・〇
パン牛乳其他　五〇・〇
合計　五二一ミル

右は五人家族最低生活費である、旱魃に依つて、米、豆等の値段が昂騰することあらばそれは重大なパンの問題となつてゐる

"魚が上つたア"朝も晩も魚なくては我慢ならぬニッポン人にこれは確かに大痛事である、そこでキタンダとカマボコ屋さんとの話を聞くとザット次の通り

キタンダ（野菜店）買ふ方も辛いでせうが、賣る方も情ない有樣です、何しろアルフアセ一つが六百レースですからネ、これじゃ買手がありませんや、トマテがキロ一ミル五百から二ミルです前はキロ三ミルでも賣れましたが、此の頃じゃサッパリです、と言つて品物は一通り揃へにゃなりませんし、揃へても晩方はシナビテ仕舞、此の節一ヶ月位ひは毎日食ひ込みです

蒲鉾屋さん　毎年今頃は一番魚の安い時ですが、昨日今日は丁度倍の値です、これじゃ作つても損しますからね、ト言つてお得意さんには濟まなくてそう急に値段も上げられず困りもんでサア、まあ少し値下りまで休業です

## 二千六百年の秋の祝典

### 京都の業者に智慧を借り 三萬人に宿の用意

#### 準備は出來たと東京の旅館

聖國各民は、勿論、海外在住同胞が擧げて待望する光輝ある紀元二千六百年祝典は秋酣の十一月十日式典、十一日奉祝會の嚆矢が鳴響げられるが、この式典に日本全國及び海外から參集の光榮者は凡そ五万二千人と豫想されてゐる、ところでこの五万二千人中概れ三万二千人が宿舎を必要とするので、紀元二千六百年奉祝會事務所では、これらの人々のため、市内の旅館業組合に宿舎の割當を依頼した依頼を受けた同組合では光榮なことだと感激し一諾で引受たが、何分こんな多人數はじめての事として、組合役員會を開きその對策を協議した結果、これは一つ御大典の輝榮をもつ京都の業者にお知慧を拝借しやうと日下部組合長が京都に出張して參考材料を持歸へりこれを基礎に協議してやっと三万二千人の收容法の具體案決定を見たといふ、ところで現在市内の旅館數は二千八百軒、この中祝典參列者を舊つて生活戰線に立つてゐる、子を救ひ親を、一家を救ひ國を、時局に處する覺悟を新たにしたとのことである。

## 母なき家に一燈 女子奉仕團の美擧

ノロエステ線ビリグキ驛バライソ植民地在住中津某は去る九月卅日大勝の子供を殘し妻に死なれ、男手一つで何うにもならず困惑してゐる、これを見た同地女子青年會は協議して、この光りなき家の手助けを申出で、直ちに實行に移した、聞き交者で同家に幸り縫物、洗濯、家事の萬端を引受け子供の世話までするので當の中津氏は一時は沈み切つて居たが、この女子奉仕軍の厚に感謝の熱涙をしぼり、今は身に新しき活路を見出し、渾身

伯國農村經濟協會からコスタ農相への親書に依ると本年度のマモナ生産高は一億五千万瓩に上り、世界マモナ產額の六十パーセントに組當し、ブラジルは世界第一のマモナ生產國である

既報のオカツバ頭からザン朝

## 棉花種子配布高

聖州農務局棉花種子配布所カンピーナス支局よりの發表に依ると次年度播種用種子として本月十日までに「廿九万七千二百三十八袋」を拂下げ昨年より非常に增加してゐる、その額面はマリ・ア・ゾ郡の四万八千五百三十三袋で主に日本人に拂下げられてゐる、次はパウレー郡の四万四千三百〇六袋、アパレー郡の二万九千五百三十五袋の順になつてゐる

## 今夜リラ倶樂部で 學生聯盟の恒例音樂會

聖市學生聯盟の恒例演藝會は今夜午後八時からサン・ジオアキン街三九二のリラ倶樂部に於て開催されるが、今回は

## 東棉の島さん 一昨日來聖

東棉田川氏の後任として赴任して來た島清次郎氏は、夫人と令嬢同伴、ぶらじる丸で一昨日來伯したが、會社差廻しの自動車で來聖、ホテル・サンペント三千百十六號室に當分宿泊料も驚くほど安く、全部一律に一日三食付三円、サービス料五円鈆と決められ其他細かい注意書を配布し安心して上京して下さいと各方面に通知を終したと

## 日本毛織會社聖市支社動務の森山泰氏は先月下旬公証試驗の試驗を受けたが見事にパス、去る廿一日附電報を以て合格が公表された

▲

事務員の數は貿易部八人商業會議所八人でどちらもサッパリ合つてゐたが、貿易部の方稱讃の的となつてゐる

## 私は

文化植民地律設の使命を帶びて千九百二十六年北米加州を訪問した折り、計らずも聖郡氏の長男惠一君の悲しむべき動機を耳にした。

惠一君は苦學して中學を卒業した。それからハイ・スクールである。北米もあの時代になるとスクール・ボーイをして勉學し得るのは中學まで、或特殊の人を除いてハイスクールを卒業することは不可能であつた。

丁度サンマー・タイムであつた。惠一君は中學を卒へた暇を利用して、ロングビーチに行つて家庭奉公をした。これは誰でも北米に住んでゐる者の余り富裕でない學生の習慣的な行動である。

西船の船に乘つて日本に歸つた人は誰でも氣付くであらう。船がサン・ペードロ港に這入る少し前に二、三の高層建築なども見える油繪の樣な市街を望見するであらう。あれがロング・ビーチである。同じ海岸郡でもベネザは見世物小屋などあつて淺草式な賑慾な遊び場であるが、ロング・ビーチは海岸に蘇鐵や椰子樹などを植え込んだ公園や並木道などあつて、上品な海水浴場である。

惠一君は茲で同じ奉公仲間の獨逸系第二世の娘と親しくなつた。彼等は若くして夢見る時代である。二人は何時の間にか海岸の公園に手を結んで逍遥する樣になつた。ハリウッドの活動寫眞は彼等に戀愛の手本を示すに充分であつた。それにロング・ビーチの

## 話は（十）

再び聖郡氏に戻つて來る。彼は如何にしても野上氏の委托金を返濟せんと苦心したが、どうにも方法がなかつた。責任感の强い彼は日本に歸つて金策仕樣と決心し、既にサントス港まで道つて來たのを、野上氏は見兼て、使つてしまつたものは余儀ないことである。それに及ばぬと云つて止めたので、彼は心ならずも引返した。彼は懶々として樂しまなかつた。

しかし彼に只一つの殘された希望があつた。それは北米に苦學しつゝある長男惠一君である。工學士となつてブラジルに戻つて來る時こそ彼にとつてグロリオーゾの日であつた。彼は萬難を排して惠一君の申出づる金を送つて遣つた。

## 埋れ行く拓人の足跡 煙草を卷く元判事

樹南 (51)

惠一君は送金を依頼して來た英文の書面をロスアンゼルスの彼の友人Mが私に見せてくれた。

「若し、惠一君があの獨逸娘と別れるならば送金する」

と云ふ返事を出したが惠一君は其の翻變する獨逸娘と別れることは出來なかつたと云ふ話である。私などから見れば別れろなど云ふのが野暮の極頂である。即ずに彼等の善後策を講じて遣るだけの酢いも甘いも嚙みしめた粋人がゐなかつたことを殘念に思ふ。

## 私は

かうした惠一君の絶望的な狀態を見聞してブラジルに戻つて來た。その頃聖郡氏は聖市支店の中央メルカード東側に住んでゐたが、私は全部三郎氏の悲嘆は筆に盡せない。

## 大阪

日本に歸つた人は誰でも氣付くであらう。船がサン・ペードロ港に這入る少し前に二、三の高層建築なども見える油繪の樣な市街を望見するであらう。あれがロング・ビーチである。同じ海岸郡でもベネザは見世物小屋などあつて淺草式な賑慾な遊び場であるが、ロング・ビーチは海岸に蘇鐵や椰子樹などを植え込んだ公園や並木道などあつて、上品な海水浴場である。

惠一君は茲で同じ奉公仲間の獨逸系第二世の娘と親しくなつた。彼等は若くして夢見る時代である。二人は何時の間にか海岸の公園に手を結んで逍遥する樣になつた。ハリウッドの活動寫眞は彼等に戀愛の手本を示すに充分であつた。それにロング・ビーチの

## 戀愛

は曲物である。多くの場合悲劇に終るを常とする。惠一君のコースも不幸にして其例にもれなかつた。彼は不義理の借金をした。ブラジルに彼の成功を待つてゐる父三郎氏には嘘八百を並べて送金を迫る。そして結局はロスアンゼルス界隈に身を置く所がなくなつた。彼等は遂に遠くカンサス・シティーに逃つた。

カンサス・シティーでも暗闇に、及ばぬと云つて止めたので、彼は心ならずも引返した。彼は懶々として樂しまなかつた。

しかし彼に只一つの殘された希望があつた。それは北米に苦學しつゝある長男惠一君である。工學士となつてブラジルに戻つて來る時こそ彼にとつてグロリオーゾの日であつた。彼は萬難を排して惠一君の申出づる金を送つて遣つた。

惠一君は送金を依頼して來た英文の書面をロスアンゼルスの彼の友人Mが私に見せてくれた。

「若し、惠一君があの獨逸娘と別れるならば送金する」

と云ふ返事を出したが惠一君は其の翻變する獨逸娘と別れることは出來なかつたと云ふ話である。私などから見れば別れろなど云ふのが野暮の極頂である。即ずに彼等の善後策を講じて遣るだけの酢いも甘いも嚙みしめた粋人がゐなかつたことを殘念に思ふ。

## 重要商品市況

十月二十二日

| 貨物 | 價 |
|---|---|
| バタタ | 一〇〇・〇〇 |
| ベーコン | 一〇・〇〇 |
| ラード | 一〇・〇〇 |
| ベーコン | 一〇・〇〇 |
| ラード | 一〇・〇〇 |
| 人參 | 一〇・〇〇 |
| バタタ

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. Samesima

# NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno .... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero de dia ... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — QUINTA FEIRA 24 de OUTUBRO de 1940 — DIARIO No. 2317

## Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

## Preconisada a formação de um gabinete de guerra no Japão

TOKIO 22 (Domei) — A imprensa nipponica preconisa a formação de um gabinete de guerra, para que o paiz possa enfrentar a complexa e tensa situação no Pacifico, agora aggravada pela opposição anglo-norte-americana.

O «Kokumin Shinbum» diz, em um artigo de hoje, que a reforma do gabinete deve ser attribuida á recente hostilidade manifestada pela União Americana e pela Inglaterra.

Diz ainda o mesmo jornal que a circumstancia da Allemanha estar se preparando para uma offensiva geral contra as Ilhas Britânicas, o arrendamento de Singapura pelos Estados Unidos eo facto de que este paiz e a Gran-Bretanha se disponham a oferecer uma defesa conjunta das Indias Neerlandezas, são todos factores que contribuem para que a situação internacional no Pacifico adquira uma tensão sem precedentes.

A importancia das Indias Orientaes Hollandezas como fonte de materias primas, principalmente de petroleo, foi destacada pelo ministro do commercio, Ichisô Kobayashi, chefe da missão economica que foi á Batavia para negociar a acquisição de petroleo daquella possessão hollandeza.

O ministro Kobayashi declarou que o petroleo é essencial para o Japão e que felizmente os hollandezes parecem comprehender os pontos de vista japonezes.

### DISCURSO DO VICE-MINISTRO DO EXTERIOR

TOKIO, 22 (Domei) — O vice-ministro das Relações Exteriores, sr. Ohashi, em um discurso divulgado pela radiotelephonia sobre a situação mundial do momento e o Japão, declarou que «os acontecimentos registados desde a conclusão do pacto triplice demonstram que as potencias europeas e americanas, que apoiam o governo de Chungking, são as verdadeiras inimigas do Japão».

O ministro manifestou, em seguida a opinião de que o proprio povo chinez percebeu que a sua patria foi explorada pelas potencias imperialistas europeas e americanas, mas que sem duvida, o generallissimo Chan-Kai-Chek, «em um esforço para salvar seu decoro, continua offerecendo uma encarniçada restistencia ao Japão na esperança de que este paiz se veja envolvido em guerras com a Russia e Estados Unidos».

## MAIS UMA PRODIGIOSA CONQUISTA DA CIÊNCIA

Os meios pedagogicos e cientificos japoneses que ultimamente se têm movimentado com enthusiasmo visando a reforma dos methodos adotados nas aulas da lingua vernacula para o estabelecimento da pronuncia correta, que deve ser usada em todo o paiz a partir do proximo anno de 1941, quando entrará em funccionamento a Escola nacional acabam de ser satisfeitos os seus desejos com o successo obtido pelo Prof. Chida no final de suas pesquisas cientificas.

O Ministerio da Educação do Japão, tambem muito se vem esforçando nesse sentido, afim de dotar as escolas de livros didacticos orientados por um modelo basico de pronunciação correta do idioma patrio, corrigindo os sons incorretos trazidos pelo regionalismo ou pela arbitrariedade grafica e fonetica que deturpam o verdadeiro idioma vernáculo japonês.

O Snr. Chida, professor da Escola Superior de Linguas Estrangeiras de Tokio, tendo tido desde cedo sua attenção voltada para essa importante questão, organizou nesta Escola, em 1930, uma sala bem instruida para experimentação e estudos, e com o auxilio da aplicação de varios apparelhos e maquinas cientificamente applicadas, conseguiu ultimamente apos 10 longos anos de pesquisas, filmar e gravar, por meio de raio X as ondas sonoras da voz humana, legando ao mundo mais essa prodigiosa conquista da ciência que é o apparelho fonetographico. As ondas sonoras do falar, já concluido e permittindo que se estabeleçam os meios efficazes para a correta pronuncia da lingua japoneza.

Para mais ampla difusão dos meios corretos de orientação do uso do idioma patrio, os educadores e pedagogos japonezes iniciaram uma serie de conferencias sobre a correta pronuncia da lingua nacional, sendo que na primeira delas com a assistência de grande numero de professores primarios e secundarios, foi empregado o novo instrumento fonetographico da lingua japoneza. Embora se trate de uma experiencia levada a efeito pela primeira vez na capital do paiz, já ha grande numero de pedidos feitos por corporações e associações culturaes nacionais, inclusive da China, do Manchukuo e de Taiwan, que visam a correção dos dialectos e regionalismos.

Inegavelmente os resultados até hoje obtidos são invulgares e representam grande soma de esforços acumulados. Já foi feita a comparação cientifica dos diversos idiomas estrangeiros, dos dialetos e regionalismos japoneses, a correção do vocabulario empregado nos 12 exemplares dos livros de leitura adotados nas escolas primarias, alem do estudo de mais de uma centena de casos pessoais.

Os méotos de exame são três: 1.º biológico; 2.º acustico; 3.º psicológico. No processo biologico, observa-se visualmente, por meio de raio o interior da bocca no alto do palar, filma-se a laixa sonora por meio do straboscopio e, por um processo ficico feito com um oscilografo apparelho de fotografar as ondulações e vibrações elétricas, firma-se a onda sonora, simultaneamente com a aplicação de raio X. Observa-se psicologicamente por meio de um registrador de impressões psicologicas.

Por esses processos, pode-se apresentar a pronunciação modelo, básica e correta do idioma vernaculo, com uma representação grafica completa.

NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

## No Oriente Próximo

Quando começou a guerra, era corrente a idéia de que uma força poderosa seria alinhada no Oriente Próximo contra a Alemanha. Havia os exércitos anglo-franceses da Palestina e da Siria; havia a Turquia, a Rumânia, a Grécia e a Jugoslávia; ao redor, outros contingentes apreciaveis que gravitariam para o campo de maior poder militar.

No entanto. Weygand não se moveu com o seu exército. A Rumânia esperou inerte a hora da sua imolação. A Turquia e a Grécia hesitaram e parece que agora ainda hesitam, embora realmente sua fidelidade politica britânica. Quanto á Jugoslávia, tem conseguido esta coisa excelente: pouco se fala nela, o que é bom sinal.

A explicação é só uma: a U. R. S. S., que já prelibava a Bessarábia, teria feito sentir a Bucarest, a Ancara, a Atenas e a Belgrado que não toleraria uma ação combinada contra a Alemanha, a que se aliara secretamente, obrigando-se a permanecer neutra em troca da Bessarábia, de um pedaço da Polónia, dos pequenos paises bálticos. O terrivel vizinho, só com franzir a carranca deteve as forças que poderiam ter socorrido os polonezes ou neutralizado os italianos.

Hoje, repontam noticias de que a Turquia se apresta para resistir a pressão que por acaso tentem fazer-lhe as potencias do eixo. Observemo-la. Se realmente se erguer contra a Alemanha e a Itália, essa atitude significará que a U. R. S. S., tendo esgotado os proveitos que a aliança teuto-germanica lhe oferecia, agora se dispõe a explorar a amizade da Inglaterra.

Por intermédio de Ancara, teremos a definição de Moscou.

Para o império britânico, o concurso turco seria preciosissimo, não só pelo que a Turquia vale, em si, como pelo prestigio de que o governo de Ancara continua cercado no mundo mucumano. Não ha mais o poder do califado que dantes enfeixava na Sublime Porta chefias politicas e religiosas. Ainda, assim por ser o mais representativo país do Islam, a Turquia equivale, aos olhos dos mahometanos, a uma esperança do restabelecimento do imperio do profeta nas terras que já veneraram a bandeira do crescente. Na Arábia, em todo o norte da Africa, lá no fundo do oceano Indico, a fé religiosa se ajuntará ás simpatias politicas para apoiar o que resta do antigo edificio otomano.

A cartada do Oriente Próximo, que não demorará a ser jogada, terá influência preponderante na marcha da guerra. Ali a Alemanha firmará a sua invencibilidade ou a Inglaterra comprovará a existência de inesgotaveis energias vitais, — a menos que a U. R. S. S. interponha-se aos contendores, não chamá a si a parte do leão....

## 燐肥製造に妙案出づ

### 印度人の祕傳が發端 骨粉は今後農家の手で

燐酸肥料は鹿州の土地に無くてはならぬ要素であることは本欄で再三述べた所である。イバネーマの政府工場からも大量に出る骨になつてゐるが農家の手元にある原料としては骨以上のものは無いことも再三述べて置いた、然しあの固さでは手にをへないことも事實で極々と使法も工夫されて來たし、その報道もやつて來てゐる、最近州當局から名案が一つ出た、それを紹介しよう

ヒントは印度人が骨を肥とする際石臼製造用の苛性ソーダ液を作り、その内へ大小様々の骨を投入して數日放置して置く、こんな簡單極まる操作で骨がクタ〳〵になつてしまふ、その理由は次の通り

骨の化學的要素は燐酸と多量の石灰及び少量のマグネシアとの化合物である、化學者は燐酸三石灰と解ふ、これがソーダ液と接觸すると燐酸ソーダが化合して石灰を溶離する從つて固い骨もクタ〳〵となり、木槌で叩くだけでクタ〳〵と碎けるわけである、骨肥分の一部は水に溶け出すから肥分には水の部分も全部利用する

昨年來實驗の結果では骨粉と輕べて一部水に溶けた燐酸があるため、新法の方が効き目が馬鹿に早い、又ソーダ液は六%程度が最も適當で、極作用一アルケーリには骨を二百キロ、ソーダ十キロで充分となつてゐる、田舎に在る骨をわざ〳〵都會へ持ち出し、高い運賃と商人の口錢を掠つて畑へ持ち込むことから考へると割的の發案である、容器は桶でもラッタでも何でも良く、骨が充分ソーダ液に漬るのを確認し、六日も經過すれば充分化學變化が完成してゐる

苛性ソーダの代りに苛性カリを用ひると立派な加里肥料となるが、値段の點で高くつく、尤も町から骨粉を買ふつもりで加里を使へば決して損ではないだらうと考へる

最後に木灰の新しいもの二十キロ水百立であく汁を作り、これに骨を漬けて置いても軟かくなる、あく汁は燐酸加里液であるから、これだと只で加里肥料を骨粉に參加させることゝなり一段と有利である

只あく汁だと軟化に相當日數が掛るだけの損？はある、大略廿日程で軟化を完成する

## 馬鈴薯を着る獨逸

### 天才・ヒ總統思ひつき代用品

馬鈴薯の葉から着物をつくる ドイツの科學はこんな試みにもいつの間にか成功してドイツ人は知らぬ間に馬鈴薯の洋服を着せられてゐたしかもこの發明がヒットラー總統の天才的思ひつきによつて成功したのだといふのだ、ヒットラー總統は戰爭だけになつてゐる、最新刊の「四年計畫」といふ官營雜誌にチューリンゲンの州長官フリッツ・ザウケル氏がその間の事情を發表してゐるが、一九三八年の二月かれがたま〳〵ヒットラー總統と

食卓をともにしたとき總統曰く

「代用品の原料はドイツ國内に年々新しく、しかも豊富に產するものなることが第一條件だ、この意味において馬鈴薯の葉はドイツの新しい原料にならねばならない、洋服や紙をつくるため森林を切り倒すのは勿體ない、自分は馬鈴薯の葉から立派な纖維がとれることを確信する」

なるほどこれは思ひつきだ、馬鈴薯の地下に埋もつてゐる根こそドイツ人が米の飯はほど大切にしてゐる食糧だが、地上に露はれてゐる葉や莖は榮養が少いため家畜の飼料にもならず肥料の扱ひされて年々夥しい量が捨て棄てられてゐたのだ、ヒットラー總統からヒントを受けたザウケル氏はワイマールへ歸つてチューリンゲン纖維研究所長シューベル博士に相談した

しかし馬鈴薯の葉の利用は素人であるヒットラー總統が思ひつきまでもなく專門家の間ではすでに研究濟みで、いくらドイツ名物の發明物がないとはいへこれだけは滿足してゐる方法がないといふ定說になつてゐたが總統の確信は動かすべからず、半信半疑でやりはじめたところがやつぱりうまくいかん 形ばかりの

纖維

は探れても工場採算はとても見込みがないといふ憂鬱な日がシューベル博士に續いた、中間報告として持參したうちの見本をヒットラー總統にお目にかけると

「余は確信する、さらに研究を續けよ」

と一番頭感、かくするうちになるほどヒットラー總統の確信は見事に的中した、立派な植物纖維が馬鈴薯の葉からつくられたではないか、洋服も出來れば紙も作れる、昨年の戰爭の始まる少し前から工場生產に入りコッツッ馬鈴薯の

生地

を市場に出したがドイツ人はこの洋服を着てもなほ少しも氣がつかない、チューリンゲン新聞の用紙を百%この馬鈴薯紙で賄つたが成績すこぶる良好、ヒットラー總統の繼定推して知るべし

これまではスフの原料として植物纖維が馬鈴薯の葉から出來るとしてその三十%をこの方に轉ずるとして昨年に六十七万五千トンの植物纖維を採ることが出來る勘定だ

目下各地にこの馬鈴薯纖維工場がどん〳〵增設されてゐる

ドイツ人は馬鈴薯を

食ノ

て戰爭に勝つたが今度は馬鈴薯を着てヨーロッパ新體制に乘出すだらう

## 馬鈴薯

### 天才・ヒ總統思ひつき代用品

## 珈琲に新境地

### 何で謂つても伯國の弗箱

### 耕主連俄然强硬

農經

再度の獨南で、農村はアッツソンに、種時きに多忙を極めてゐよう、殊に種作農家は正に書き入れ時、この際種の話を止めて珈琲の話をしよう

一體の珈琲ではカフエー市況は徐々に好轉の傾向にあるカフエーと稱しても銘柄は天からピリまであり今體既に好況とは謂ひ難いが、聖州の聖モレ、四級を心とする市況は確に好轉した、中間は尊山ある、その第一は北米が買當て輸入によつて珈琲生產國間に起つてゐる無用の競爭を避けたこと、伯國商當ては別物より少々增加して九百三十万俵、それも北米人はモレ殺を希望してゐるからリオ級の燒餅を外目に見て鉈にも仙台を搜叫した、伯國今年の珈琲は非常に品良く、調整さへ充分にやれば四級等さらである、第二が既に耳にタコが出來る程聞かされたセッカが好轉に役立つてゐるから面白い奥地のフアゼ デイロ間ではどうせ駄目だ、塩壓の木を伐話しても充分收穫が無いから、今年納屋へ收めた優良品を後生大切に貯へて置けば、明年は國外ならにして成金だと早くも皮算用中である 七面倒な横出し規則等は明年とも成つて市場に殺到海ともなれば、商人が値を低くして買ひに來ると大した儲いきである

## 農家用配合肥料

今年は棉實粕が馬鹿に安い、家畜の餌にも良いが、今の値段なら肥料に使つても決して費得とは言へない、否大いに利用しなければ百姓冥加が盡きる

最も理想的な利用法は附近の背草を漂山刈り取り、これと棉實粕を互ひに積み重ね、一番上から動物の糞：人間のでも勿論良いが、伯人に見つかると事面倒になる……を注ぎ日光の直射を防ぐ、少し日が經過すると盛に醗酵するから度々切り返して蒸熱を防ぐ、この際少々過燐酸を加へるとアンモニア分が完全に肥の中に保留出來て便利である。一ケ月で充分發酵を終り、良き堆肥となる、濃厚な肥料分を慾する人は棉實粕を漂山に、稀い肥を望む者は刈草を漂山使へば一ひつ通りの肥料が出來る棉實粕は完全肥料の一つであり、伯國の棉實には打つてつけの肥料でもある。

## 農家便覽

ブラジル牧牛頭數一億に四千七白万頭、人口より牛口の方が多數である

## 世紀の英雄

（上海・上海）番 伸二 夏目漱石

（四十九）

### 曠野を衝く（九）

「……一寸、あたしの言ふこともきいて下さいよ」

そうゝあ、あたしの一座なんてさまにもなんにもなつて無いチヤチなものですけれど、これでもあたしは一座の座頭なんですの

で、このムーランでの興行も明日限り、明後日は丁度川崎を下つて佳木斯へ行かうと思つてゐたんです

だから治子さん、あたしの一座と行動を共にしたら如何？」

耳にした時は亂暴にも響く言葉ではあつた。然し、その中に眞實の響きと、暖かい好意を感じることの出來るかの子の言葉である

「おい〳〵、君はさう言つて治子君に高座を手傳はせやうといふのぢやないか！」

「……あんた、あたしの所で一、二ケ月働いてくれたら持參金の萬や二萬、とは大げさだけど、五百圓位だつたら出來るんですけれどねえ」

と、小首をかしげる。源太郎も治子もさつと頬を染めた

「あーら、あんなにあかくなつてうぶなんだねえ、あたしや、昔を想ひ出すわ」

と、しよげ返る始末である

翌日午前十時、ハルビンから千二百噸の綴成といふ船がスンカリーをゆる〳〵と下つて碼頭に着く碼頭に綴成が着くと、苦力達が一としはひしめき合ふ。

そばは此處で 何んな所にでも出來ます

此の粉の利用は外國で餘りにも知り過ぎて居ります、然るに此の粉は殊に實は豚の肥育に適する事、乳牛の飼料に殊に妙で、牛馬の飼料として大に實用す可きものです

當國ではパラナ州の南部地方では盛に住民が此のそば粉とパン粉を混じてパンを作ります、小麦粉の高い今日大に蕎麥を蒔いてウドンの代りに經濟なそばを實用するを御奬めする

種子 一〇〇瓦 一、五〇〇

時報商事部
時報支社
地方取次所
(Lins - R. Com. Salgado, 144
Marilia - R. Paes Leme, 306
P. Prudente - R. Ruy Barbosa, 70)

發着廣告

| 日本へ | | | 日本より | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ぶらじる丸 | サントス發 | 一月七日 | あらびあ丸 | 横濱着 | 十二月十六日 |
| あらびあ丸 | サントス發 | 十二月六日 | ぶらじる丸 | サントス着 | 十二月二日 |
| 神戸發 | 九月十三日 | | 神戸着 | 十二月十三日 | |
| あらびあ丸 | 神戸發 | 九月廿二日 | あらびあ丸 | 神戸發 | 九月廿七日 |
| サントス着 | 十月廿二日 | | サントス着 | 十二月五日 | |

南阿丸—一等船客のみ御引受申上ぐべく候
詳細は弊社又は左記代理店へ
サントス 伯刺西爾大阪商船株式會社 (Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
聖市 伯刺西爾大阪商船會社出張所 (Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda) Rua Cidade de Toledo, 31 Santos
Filial de São Paulo Rua da Quitanda 82 - São Paulo
WILSON, SONS & CO. LTD. Avenida Rio branco 37 Rio de Janeiro
伯國大阪商船會社

學童の健康を
第一に——
○口腔を清潔にする事
此にはオリオン衛生ハミガキを朝と夜寢る前に二回使用する事
一袋 二錢
一打 二十二錢
○小供に最も大切な
ビタミン强壮劑
丸善肝油ハリバ
百粒入一ビン 三十三錢
○通學中雨に濡れない樣に
通學カッパ
一枚 四十五錢

蕎麥（そば）を植えなさい